

全村博物館構想は、身の周りにある良いものをみんなと一緒に探して、学んで、この村で楽しくやっています♪ という活動です。



智里東地区・中平の
鯉のぼり。
(写真・中田)

【発行・問合せ】
阿智村役場 協働活動推進課
全村博物館構想事務局
TEL0265-43-2220 FAX43-2351
achi.zensonhaku@gmail.com

2020年5月20日

インターネットで地域資源を紹介！

阿智村の地域資源をホームページで紹介する「だけじゃないあち」を始めました。阿智村の歴史や自然、身近なものを紹介していきます。またこのコーナーで紹介する地域資源を募集します。あなたが「好きだなあ」と思う阿智村の人・モノ・コト。例えば景色や生きもの、料理、〇〇の達人などの情報をご提供ください。また記事を書く方も募集します。知りたい、伝えたい阿智村のことを教えてください！

まずは事務局が書いたのを読んでみて下さい♪



- ① 「阿智村 全村博」で、検索！
- ② 全村博HPから、「だけじゃないあち」のページへ。

だけじゃないあち「半径500mの生きもの」シリーズ



フデリンドウ サンショウクイ メジロ

古文書の整理をお手伝いします

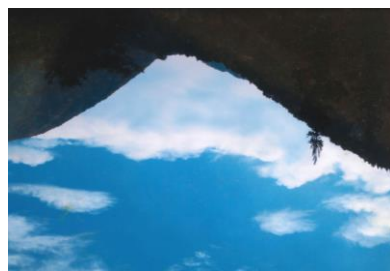


皆さんのおうちに江戸時代～昭和初期の古い文書や地図がありませんか？その中には当時の村の暮らしが分かる貴重な史料があることも。“捨てたいけど、捨てて良いかわからない”時は、ご一報いただければ整理のお手伝いをいたします。また、一緒に作業をする人も募集しています！連絡は上記の協働活動推進課、全村博担当まで。

あ！これ見つけ！

皆さんから寄せられた、村内おもしろ情報をご紹介します

智里東地区～浪合へ向かう国道153号線の道沿いで、「富士山に見える写真が撮れる！」との情報を頂きました。どこで撮れるのか、探してみてくださいね！



※交通の安全には十分ご注意ください。

クイズ！ 『この場所は、どこだ？！』

阿智村出身の写真家・熊谷元一の写真に写る場所を皆さんに当ててもらおう参加型企画です。その場所は今どうなっているのか？！地域おこし協力隊・中田が撮影に行きます！

ここは浪合地区のどこでしょう？

浪合村の県道
阿智村浪合

1955（昭和30）年撮影



答え合わせは次号で！

答えが分かった方は6月10日（水）までに下記連絡先へ、ご連絡ください。

前回は1名の方からご連絡をいただき、撮影当日は9名の方に集まっていたいただきました。ありがとうございました！

前号の答え

下清内路地区



1956(昭和31)年

旧下清内路農協前から、診療所方面を見た場所。当時はバスも通っていたそう！

64年後



集まってくれた皆さんには、「良い服を着てるし、こんだけ集まってるからお盆に撮ったんじゃないか」「この近くにパチンコ屋が3軒あった。そのうちの1軒は今床屋だ」「道が広がる前は柿の木があったなあ」などと教えて頂きました。

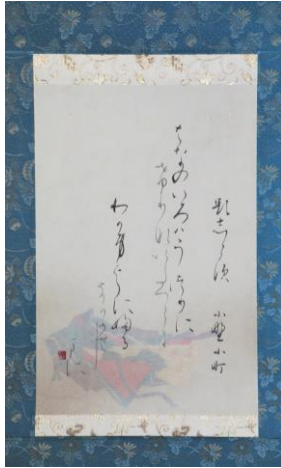


◎企画展「アチノヒト美術作品展」インタビュー編

5月から阿智村の方が制作した美術作品を展示する予定でしたが、中止となりました。そこでインタビューとともに紙面でご紹介します。

松井廣子さん（駒場在住、81才）

松井廣子さんは、昔から字を書くことが好きだったそうです。60代の頃公民館の書道教室に通ったことがきっかけで、書を始めました。平仮名などで書く、かな書道が「書体が良くて好きだなあ」と話します。



百人一首九番、小野小町の「花の色は...」を書いた作品は高齢者の文化・芸術の祭典、信州ねりんピックで長野県知事賞を受賞しました。



「書をしていると気持ちが落ち着くし、出来上がったものを飾ると部屋の空気も落ち着く気がする」と話す廣子さん。最近は書をお休みしていますが、「とにかく字や文章を書くことが好き。また書にも挑戦していきたい。」と話します。

小山 実さん（社会福祉法人夢のつばさ、68才）



ART360プロジェクト
全国障がい者作品展
入賞作品
『鮭の車』（立体作品）



小山実さんは、約30年前から貼り絵に取り組んでおり、最近は立体の貼り絵にも挑戦しています。個展を開くことや、出来上がった作品をコンクールなどに応募する事が楽しみだそうです。

『35の絵』

川上厚子さん（駒場在住、71才）

川上厚子さんが水墨画を描き始めたのは、展覧会を見に行った際に教室に誘われたことからでした。子供の時から絵を描く事が好きだったという厚子さん。「展覧会にもよく行くし、美術の本を読む事も、描く事も、とにかく絵が好き」と話します。水墨画協会に所属し、県展などに出品するようになったことで沢山のひとと出逢い、新たな繋がりもできたそうです。



県展受賞作品『牡丹咲く』

描く時は無心だそうで、「何も考えないで描ける事が、絵を描く事の一番の魅力」と話します。

墨彩画『冬の朝』

墨彩画:水墨画に彩色を施す絵画



原 萌々花さん（伍和在住、18才）

原萌々花さんはアクリル画を描いています。コピックやポスカなどのペンを使って描く事も多いそうです。

ポスターなどの作品はまず線画を描き、写真撮ってスマホに取り込み、アプリを使って画面上で配色を決めてから実際に描いていきます。

今は短大でデザインを勉強しており、なかなか家で描く時間を取れないそうですが「落書き位ならつい描いちゃう」とのこと。描いた絵は、インターネットでも公開しています。



阿智高校文化祭 棟ポスター採用作品『結』

「小さい頃母がお絵描きによく付き合ってくれた事も、絵が好きになった要因かも」と話します。

